

弘前大学教育学部附属特別支援学校

学校だより



令和2年度第1号
令和2年4月17日発行

「今年度の学校経営方針について」

校長 川村 泰弘

本校では、「自分のもっている力を精いっぱい発揮し、積極的な社会参加をめざす」という目標の下、これまで、スポーツ庁委託事業「Special プロジェクト2020」によるスポーツ活動や、造形活動をはじめとする表現力を高める教育、本校が事務局を務める「つがる地区障害者就労支援連絡会” さくらジョブネット”」を活用しての就労支援、キャリア教育の一環として地域での清掃活動や喫茶スペースの運営等に取り組んできました。

また、本校は弘前大学教育学部の附属学校として、在籍する児童生徒の学びと成長を保障する場であるとともに、大学の教育と研究の場としての使命も担っています。現在、弘前大学では、教育行政機関と教育・医学連携による教育課題解決に向けた取組を進めており、附属学校園においては大学の方針の下、特に「健康教育」と「インクルーシブ教育」の推進に向け、協同で実践研究に取り組んでいます。この中で、本校におきましては、健康教育をテーマとした全校研究として、一人一人の健康課題への効果的な支援方法を探るとともに、インクルーシブ教育システムの構築を目指した取組として、地域の児童生徒とのスポーツ交流や、附属小学校内に開設された学習支援室（ぴあルーム）に教員を派遣し、附属学校園の幼児児童生徒に対する教育的支援を行ってきました。

今年度の学校経営方針につきましては、これまで進めてきた取組も踏まえ、別紙のとおり「研究活動の充実と専門性の向上」、「地域との連携や交流及び共同学習の充実」、「体育的・文化的活動の充実」、「小中高一貫したキャリア教育の充実」、「学習環境の整備と児童生徒の安全の確保」の5つを経営の重点に掲げ、教育活動の更なる充実に取り組んでまいりたいと考えています。

さて、このたびは新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、臨時休業、春季休業を合わせて1か月余り休業措置をとらせていただきましたが、この間、各ご家庭におかれましては、きめ細かなご

対応、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本校では今年度も、学校経営の重点に沿って、子どもたちの積極的な社会参加や地域連携の推進を目指した取組を展開していくこととしていますが、当面は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、全校行事や対外行事、校外学習等を差し控える必要があると考えています。

保護者の皆様には、このような対応も含め、本校の学校運営や教育活動に対しまして、今後ともご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

新任式・始業式・入学式

春の優しい日差しが差し込む4月8日(水)、弘前大学みちのくホールにて、令和2年度新任式・始業式・入学式が行われました。今年度は新型コロナウイルス対応のため、開催自体も危ぶまれましたが、小学部2名、中学部6名、高等部7名の新入生を迎えることができました。当日、入学許可の際、新入生は大きな声で返事をしたり、在校生は温かい笑顔で迎えたりと、明るい雰囲気の中で式を終えることができました。今年度も本校の特長であるみんな元気で、思いやりのある学校を目指して取り組んでいきたいと思えます。

ブランデュール弘前FCさんから特製布マスクの寄贈



4月14日(火)、ブランデュール弘前FC代表取締役の西澤 雄貴氏、監督の姜 暁一氏、浅利 航大選手が来校し、児童生徒代表に特製布マスクが贈呈されました。ありがとうございました。

編集後記

昨年度の保護者集会でお話しましたとおり、今年度から学校の様子を保護者の皆様等に発信するため、学校だよりを発行することにいたしました。父母の会の広報誌「とみの」や学部・学級通信、本校ホームページと同様、本校の教育活動の様子をお伝えできればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<文責:教頭>